

区の財政状況について、詳しく  
知りたいことや、疑問な点があり  
ましたら、財政係  
**内線  
2121**

★  
めいていだぐ特別区税のほか、特別区交付金や国・都の支出金、特別区債などの財源を使って、区民福祉の向上のため、いろいろな事業を行っています。  
財政状況の公表は、「地方自治法」と「東京都豊島区財政状況の公表に関する条例」に基づいて、毎年2回（6月と12月）行うものです。今回は、平成4年度予算の概要と平成3年度予算の執行状況（平成4年3月末現在）についてお知らせします。

区民1人当たりの歳出予算額  
396,481円

3年度は351,743円

4月1日現在の住民基本台帳による人口により算出

# ゆたかにみのる うるおいの街づくり

## 4年度予算1,000円はこのように使われています。

生活保護、高齢者福祉、心身障害者福祉などに 	小学校、中学校、幼稚園などに 	広報・広聴、電算、その他の区役所の運営などに 	保育園、児童館、女性青少年などに 	まちづくり、防災などに 	公園、児童遊園、緑化などに 
206円	134円	104円	102円	76円	54円
国民年金や戸籍事務、出張所などに 	道路、自転車対策などに 	社会教育、図書館、スポーツなどに 	商工業の振興、リサイクル推進、労働者福祉などに 	公害補償、医療助成、成人病対策などに 	区債の返還に 
53円	51円	48円	43円	38円	33円
区民センター、公会堂、区民保健所などに 	財政調整・用地取得・文化振興、庁舎等建設各基金の積立てに 	税を集めることに 	区議会の運営に 	選挙、監査に 	予備費に 
26円	12円	8円	8円	3円	1円

## 区民税の負担状況

4月1日現在の住民基本台帳による世帯と人口により算出	
4年度	3年度
1人当たり 109,000円	1人当たり 98,988円
1世帯当たり 230,753円	1世帯当たり 210,798円

世界情勢の歴史的転換期を迎えるなか、日本経済もバブルの崩壊とともに、景気の減速化が一段と色濃くなっています。国は、前年度伸び率より低く、景気停滞に伴い緊縮予算となっています。こうしたなか、本区予算は、昨年度策定した「中期計画」の着実な実現に向けて各事業に積極的に取り組むとともに、「三大都市問題」「街づくり対策」「文化の振興」「街づくり対策」「文部省問題」「福祉施設整備」と並んで、昨年4月に策定した「新公共施設整備総合計画」をもとに、次回予算は、昨年4月に策定した「高齢社会対策総合計画」をもとに、前年度比4.9%増、地方財政も前年度伸び率より低く、景気停滞に伴い緊縮予算となっています。

重点施策の「三大都市問題」は、ごみ、住宅および車への対応で、ごみ減量・リサイクル対策としては、平成4年度を「リサイクル推進元年」として、リサイクルの教育・啓発活動をはじめ、実践活動の支援・育成を強化します。また、商工振興、消費者行政、リサイクル対策の各機能を統合した施設の建設に着手します。住宅対策では、住宅および住環境の現状を明らかにする住宅白書を作成し、更に、宅地や建物の拡充などを実現する住宅マスター・プランを策定します。また、住宅制度を創設します。第三の駐車場制度を創設します。親家庭の住み替え家賃等の助成制度を創設します。

「街づくり対策」では、高齢者住宅の増設のほか、第二の特別養護老人ホームの建設を進めます。また、福祉と保健サービスを総合的に提供する社会福祉事業団の設立準備、高齢者の資産の活用を図る「財産保全サービス」の発足を予定するとともに、障害者福祉計画を策定するとしています。「文化の振興」面では、豊島区制施行60周年記念事業に向けた各種の記念行事を実施するなど、自由時間の増大や幅

度に、地域活性化のための施策を体系统化する住宅マスター・プランを策定します。また、住宅制度を創設します。親家庭の住み替え家賃等の助成制度を創設します。第三の駐車場制度を創設します。親家庭の住み替え家賃等の助成制度を創設します。

## 編成方針

## 平成4年度予算編成方針

## 4年度特別会計予算

## 老人保健医療会計



歳入

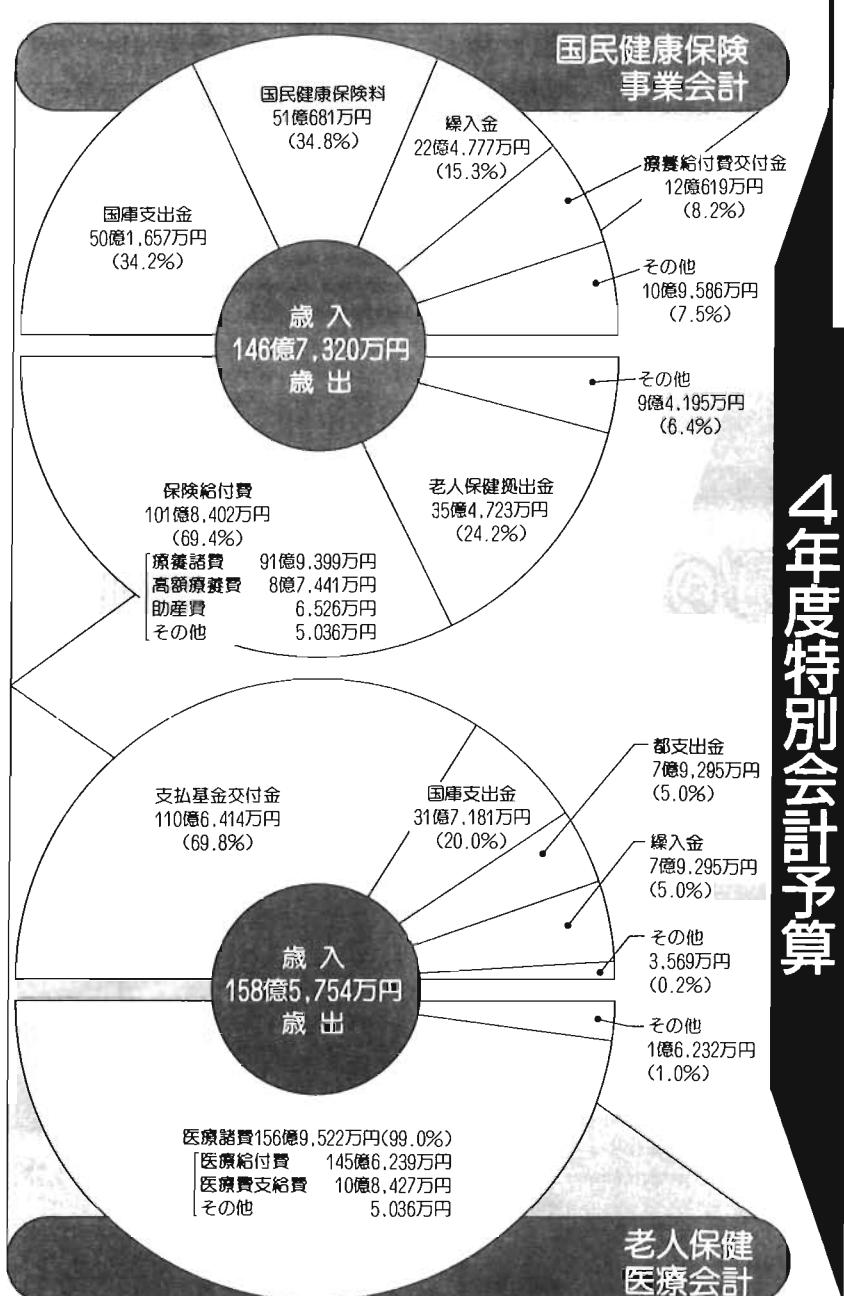
225億  
地方議与  
得税交付  
および手数  
基金等力  
各種貸付  
など

特  
312億  
特別区民  
税および  
税の

予算のあらまし

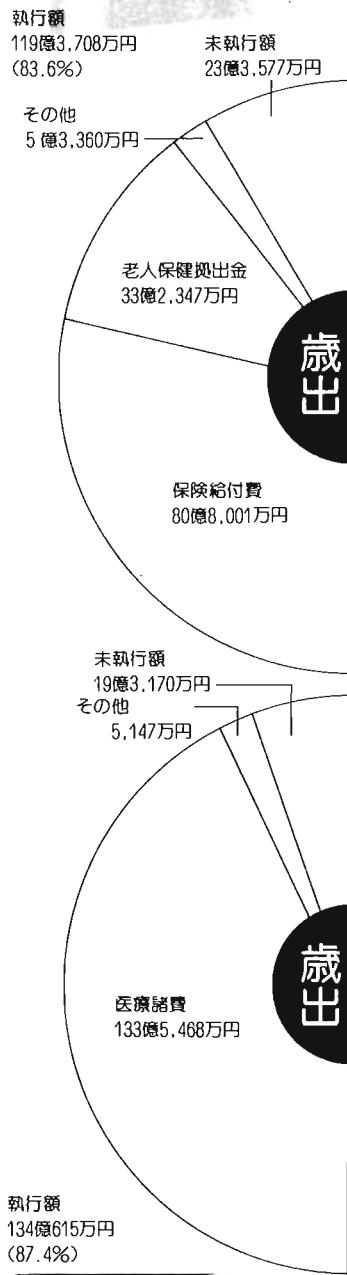
平成4年度一般会計歳入歳出予算 1,031億9,302万円

会計	年度	予算額			
		平成2年度	平成3年度	対前年度伸率	平成4年度
一般会計		795億727万円 (100.0%)	920億3,853万円 (100.0%)	15.8%	1,031億9,302万円 (100.0%)
人件費		221億2,129万円 (27.8%)	239億5,219万円 (26.0%)	8.3%	252億2,771万円 (24.5%)
扶助費		109億4,926万円 (13.8%)	107億6,223万円 (11.7%)	△1.7%	112億6,728万円 (10.9%)
公債費		25億192万円 (3.1%)	26億8,173万円 (2.9%)	7.2%	33億4,314万円 (3.2%)
物件費		145億5,785万円 (18.3%)	154億8,392万円 (16.8%)	6.4%	181億2,977万円 (17.6%)
投資的経費		165億8,646万円 (20.9%)	232億3,386万円 (25.3%)	40.1%	262億5,567万円 (25.4%)
その他		127億9,049万円 (16.1%)	159億2,460万円 (17.3%)	24.5%	190億1,945万円 (18.4%)
国民健康保険事業会計		143億1,647万円	142億4,837万円	△0.5%	146億7,320万円
老人保健医療会計		143億2,041万円	152億5,604万円	6.5%	158億5,754万円
從前居住者対策会計		568万円	568万円	0%	572万円
合計		1,081億4,983万円	1,215億4,862万円	12.4%	1,337億2,948万円
					10.0%



# 豊島区財政状況のあらまし

## 平成3年度特別会計予算の執行状況 (平成4年3月末現在)



(従前居住者対策会計)

執行状況は次のとおりです。

歳入歳出予算現額 568万円  
収入額 1,169万円 (205.8%)  
執行額 304万円 (53.5%)

特別会計予算は、特定の事業を行う場合や、特定の収入を特定の支出に充てて、一般的の歳入歳出と区別し、経理を明確にする必要のある場合に設置します。

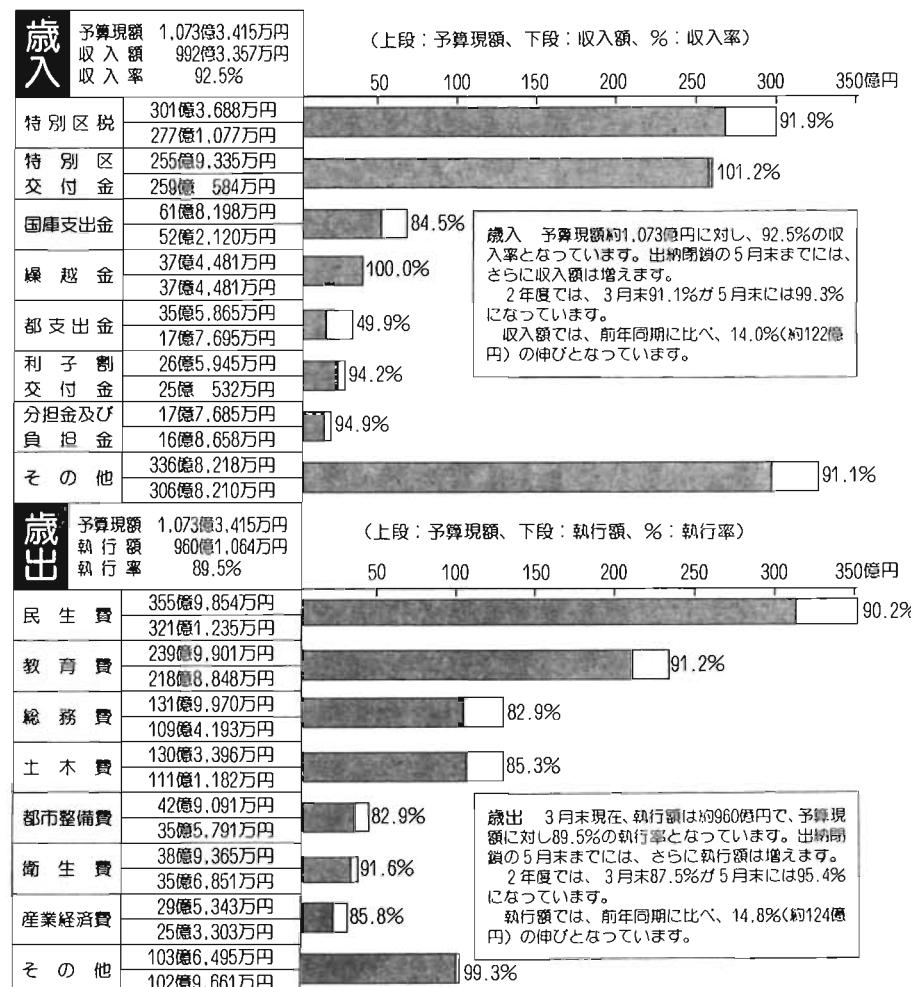
### 特別区債の状況

特区債などは、これらの施設は、永続的に利用され、それらの経費は、本来、その年度の歳入でまかなうべきです。しかし、これらの大規模な施設を建設するには、一時的に多額の財源が必要とします。このことから、その年度の通常の財源でまかなうことなどが困難です。これを借入れることで、資金を借り入れます。これがまた、その年度の歳入であること、また、それが困難であることが公平で、将来的に区民にも負担を求めることがあります。このことを考慮して、この特区債といいます。

## 平成3年度一般会計予算の執行状況 (平成4年3月末現在)

平成3年度の当初予算額は、920億3,853万円でしたが、その後3回の補正(補正予算額152億5,240万円)を行い、補正後の予算額は、1,072億9,093万円となりました(平成2年度からの累積明許費4,322万円を加えた平成3年度の予算現額は、

1,073億3,415万円です)。補正予算の主な内容は、特別養護老人ホームおよび三芳グランド等の建設用地買収経費、学校整備経費、基金積立金および特別区人事委員会勧告による給料改定経費等です。



(一時借入金)

(財政調整基金)

財政運営上、一時的に収入と支出が不均衡となり、支払資金に不足を生じることがあります。この場合、年度内に返済することを条件に、銀行などから短期間、現金を借り入れて財政運営をします。これを「一時借入金」といいます。平成3年度の一時借入金はありません。

年度間の財源の調整を行うことにより、財政の健全な運営を図るために財政調整基金の積立てを行っています。

平成3年3月末の財政調整基金積立額は、67億4,731万円になります。このうち、21億9,131万円は基金運用収益です。

## 区有財産の状況

平成4年3月末現在

有価証券・債権等	基 金	土 地	建 物
17億7,307万円	296億3,214万円	692,950m <sup>2</sup>	365,601m <sup>2</sup>

### 特別区債現在高

(平成4年3月末現在)

発行目的	現 在 高	借 入 先 内 訳				
		国	東京都	区市町村振興協会	公営企業金融公庫	市中銀行
出張所・区民集会室・葬祭場建設など	15億6,232万円	14億734万円	698万円	1億4,800万円		
保健所・児童館・アヒーム・特別養護老人ホーム建設など	85億6,740万円	43億2,081万円	5,359万円			41億9,300万円
保健所建設	2,936万円	2,936万円				
勤労福祉会館建設	3億3,027万円	7,590万円	3,347万円			2億2,090万円
道路改良・公園用地買収・自転車駐車場建設など	48億3,204万円	6億8,072万円			17億2,332万円	24億2,800万円
校舎・社会教育施設・教育文化センター建設・学校用地買収など	115億6,267万円	47億3,636万円	5億600万円	6,860万円		62億5,171万円
住環境整備用地買収	4,184万円		4,184万円			
計	269億2,590万円	112億5,049万円	6億4,188万円	2億1,660万円	17億2,332万円	130億9,361万円



平成4年5月にオープンした千川つづき苑(高齢者住宅)、千川豊寿園(在宅サービスセンター)および区民集会室。この施設は建設費の一部に、簡易保険積立金融資(千川つづき苑)および厚生年金・国民年金還元融資(千川豊寿園)を受けて建設されました。



